

Pear Pair 通信 第41号

●お知らせ - 学生スタッフの活動について -

学生スタッフの今年の活動のテーマは「生理」。心身の悩みや経済的負担といった生理に関する問題に着目しています。

現在、キャンパス内の生理実態把握のため、アンケート調査を行なっております。個人を特定しませんので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

https://docs.google.com/forms/d/1H27GC4_KAGICOxs2StzjiOMkbY0-wgacz3Q_Ja0L67Y/edit

この号の内容

- ◆お知らせ
- ◆活動報告
 - ダイバーシティセミナー
 - 「じぶんらしくいきる」を開催しました -
- ◆室員紹介 御館久里恵 准教授
- ◆お役立ち情報
 - 休憩室&相談室利用のご案内 -
- ◆つぶやき
 - オリンピック 東京2020 -

●活動報告 - ダイバーシティセミナー

「じぶんらしくいきる」を開催しました -

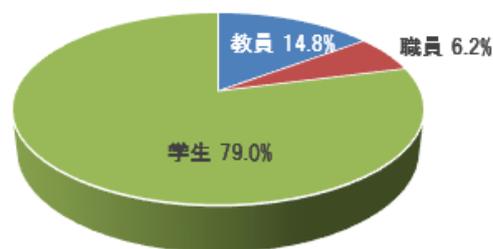
毎年6月下旬の男女共同参画週間に合わせて開催しているダイバーシティセミナー。6月21日～7月20日までの一か月間、manabaに録画した映像を配置することで自由な時間に受講いただけるオンデマンドにて開催しました。



講師の清水展人氏

本年は、昨年まで実施してきた主にLGBT等性的マイノリティに関する知識や、当事者への対応を学ぶものではなく、性同一性障害(性的違和)と診断を受けた方が、幼少期、学童、学生時代の苦悩の生活と、それを乗り越えて幸せに暮らしている現在について語ってもらうことで、学生、教職員に理解を促し、当事者にも勇気を与えられる内容として実施しました。

これまで、LGBT等の学生への支援や対応を学ぶことを目的としていたため、FD/SD研修として実施し、教職員を対象として開催していましたが、本年は、学生にも性的マイノリティ者への理解を深めていただくため、学生が受講しやすいようmanabaに配置したことで、受講者の約8割が学生という結果になりました。



受講者の構成比率

内容については、当事者にお話しいただいたことで「親からの期待などによる当事者の苦しみをより強く実感することができた」「将来自分が親になった時に子供への対応をどうしたらよいか、自分はその時どう思うのだろうかなど、今まで考えてこなかったようなことについても深く考えることができた」など本学での立場だけでなく、親の立場でのことも考えていただける機会となったこと、また「自分自身が性マイノリティではないか」「性マイノリティなのではないかと思う部分があり悩んでいた」との感想も寄せられ、話を聞きたいと思っても機会がなかったり、勇気が無く踏み出せない方に良い機会となったのではないかと思います。

今後もこのようなセミナーを開催していきたいと思っております。

★室員紹介 御館 久里恵さん 国際交流センター 准教授

国際交流センターで留学生の日本語教育や学生の海外派遣などを担当しています。また地域学部では日本語教育に関する授業と実習を行っています。



大学時代に、留学生の家族や日本の学校に転入した外国人生徒を対象とした日本語ボランティアを始めました。多様な文化や価値観に触れ、自分の視野が一気に広がる体験をしましたが、その一方で、日本に在住する外国人の方たちをとりまく制度の壁、言葉の壁、心の壁があることにも気づきました。そして、変わるべきなのはマイノリティの側ではなく、受入社会やマジョリティの側なのだ強く思うようになりました。そのための活動として、鳥取大学では「日本語パートナー制度」を実施して留学生との交流機会を増やしたり、地域では自治体職員の方や一般市民を対象とした研修で、「やさしい日本語」を用いたコミュニケーションのし方をお伝えしたりしています。

4月からダイバーシティキャンパス推進室の室員となりました。鳥取大学が多様な人々を包摂した、「みんなちがっておもしろい」コミュニティとなるために、微力ながら尽力したいと思えます。

★お役立ち情報 - 休憩室&相談室利用のご案内 -

ダイバーシティキャンパス推進室は地域学部棟の4階、エレベーターを降りて右側突き当りにあります。

推進室内には【休憩室&相談室】を設置しており、体調不良や妊娠中、産後等で気分の優れない方、搾乳などにもご利用いただけます。LGBTや育児や介護等とのワークライフバランス、女性活躍推進に関する書籍や、DVDを置いています。貸し出しも行ってまいりますので、是非ご利用ください。

また、研究活動や仕事と、育児や介護との両立をする上での不安や悩み、性的マイノリティの方の相談も受け付けております。

利用時間は平日9時～16時です。



★つぶやき - オリンピック 東京2020 -

東京2020大会では、基本コンセプトとして「多様性と調和」が掲げられています。

人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩。世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会をはぐくむ契機となるような大会とする。

東京2020大会は、そのような大会となったのでしょうか。

ご要望・ご相談などは、下記までお寄せください

〒680-8550

鳥取市湖山町南4丁目101

ダイバーシティキャンパス推進室（地域学部棟4階）

TEL: 0857-31-5769 または 内線2166

FAX: 0857-31-5797

Email: diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp

H P: <https://www.tottori-u.ac.jp/5683.htm>

室長：細井 由彦 理事

専任コーディネーター：長谷 順子（キャリアコンサルタント）



Tottori University Office for Campus Diversity

鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室